

三線Ver.

本調子

[illegible]

工
○
工中
六
工
○
工尺
中
四
○
合
○

一、僕が生まれたこの島の空を

僕はどれくらい知ってるんだろう

輝く星も 流れる雲も

名前を聞かれてもわからない

でも誰より 誰よりも知っている

悲しい時も 嬉しい時も

何度も見上げていたこの空を

教科書に書いてある事だけじゃわ

らない

大切な物がきつとここにあるはずさ

それが島人ぬ宝

二、僕が生まれたこの島の海を

僕はどれくらい知ってるんだろう

汚れてくサンゴも 減っていく魚も

どうしたらいいのかわからない

でも誰より 誰よりも知っている

砂にまみれて 波にゆられて

少しづつ変わってゆくこの海を

テレビでは映せないラジオでも流せ

ない

大切な物がきつとここにあるはずさ

それが島人ぬ宝

三、僕が生まれたこの島の唄を

僕はどれくらい知ってるんだろう

トゥバラーマも デンサー節も

言葉の意味さえわからない

でも誰より 誰よりも知っている

祝いの夜も 祭りの朝も

何処からか聞こえてくるこの唄を

いつの日かこの島を離れてくその日

まで

大切な物をもっと深く知っていたい

それが島人ぬ宝